

第08講 アヘン戦争～辛亥革命(清末の中国と東アジア)

- ① ロシアの東方進出の順で正しいものを選び。
- ①北京条約-----キャフタ条約-----イリ条約-----アイグン条約
 - ②イリ条約-----アイグン条約-----キャフタ条約-----北京条約
 - ③キャフタ条約-----アイグン条約-----北京条約-----イリ条約
 - ④アイグン条約-----北京条約-----イリ条約-----キャフタ条約
- ② 正しく直す) 18世紀後半よりイギリスがインドへ綿製品を、インドから中国へ茶を、中国からイギリスへアヘンを運ぶアジア三角貿易がはじまった。
2カ所直す) 清朝はフランス商人のアヘン密輸を取り締まるため、上海に欽差大臣として林則徐を派遣した。
- ③ アヘン戦争とアロー戦争の結果として正しいモノを、それぞれ、次の①～⑥のうちから1つ選べ。
- ①公行の廃止 ②東インド会社の解散 ③イギリスへの遼東半島割譲
 - ④鉄道敷設権の譲渡 ⑤アヘン貿易・キリスト教布教を公認
- ④ 太平天国に関する次の①～④の文のうちから、誤りを含むものを1つ選べ。
- ①天朝田畝制度で、土地の均分化をうたった。 ②”滅満興漢”を掲げ、清朝の打倒を掲げた。
 - ③男女平等を主張した。 ④反乱軍は外国軍(常勝軍)や地主軍(郷勇)の協力を得て南京を占領した。
- ⑤ 洋務運動期前後の世界の動きについて、1つだけ時代が誤っているものを選び。
- ①南北戦争 ②普仏戦争 ③スエズ運河完成 ④ブラッシーの戦い
- ⑥ 中国分割で欧米列強が租借した地域・都市の組み合わせとして正しいモノを1つ選べ。
- ①イギリスー福建省 ②ロシアー東清鉄道 ③日本ー山東省 ④ドイツー華南地方
- ⑦ 義和団事件(1900～01)とその処理について正しいものを、次の①～④のうちから1つ選べ。
- ①洪秀全が「扶清滅洋」をかかげて、南京を占領、反乱は拡大し、北上を続けた。
 - ②キリスト教を母体とした勢力によって構成された義和団が北京への入城を果たした。
 - ③8か国共同出兵により義和団と清軍は欧米日軍に撃破された。
 - ④北京議定書によって莫大な賠償金と天津開港や鉄道敷設権の付与などが規定された。
- ⑧ 日露戦争に最も関係が深いものを選び。
- ①ウィルソン大統領 ②山東半島 ③南満州鉄道 ④英露協商
- ⑨ 波線部に誤りがあるものを選び。
1905年に孫文が主導して①ハワイで結成された②中国同盟会は、③日露戦争に刺激された革命的団体であり、④民族・民権・民生主義が唱えられた。

⑩ 辛亥革命に関する文として、正しいモノを1つ選びなさい。

①賠償金の担保として、幹線鉄道を国有化したことが民衆暴動の引き金となった。

②1911年、民衆暴動を受け、南京で新軍が蜂起、まもなく清は滅亡した。

③清朝が滅亡した後に、憲法大綱が発布された。

④北京で孫文を臨時大総統として、中華民国の成立が宣言された。

◎1学期の復習をそろそろ始めましょうね◎